

1. 件 名：訓練シナリオ開発ワーキンググループ準備会合
2. 日 時：令和4年5月18日 16:00～17:50
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓
4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）
原子力規制庁 緊急事案対策室
川崎企画調整官、平野室長補佐、反町専門職、和田専門職
北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子力業務グループ
副主幹他6名
東北電力株式会社 原子力本部 原子力部（原子力防災担当）
課長他7名
東京電力HD株式会社 原子力運営管理部 課長他4名
中部電力株式会社 原子力部 防災・核物質防護グループ 課長他2名
北陸電力株式 原子力本部 原子力部 原子力防災チーム
統括（課長）他2名
関西電力株式会社 原子力事業本部安全・防災グループ マネージャー他7名
中国電力株式会社 島根原子力発電所 技術部（技術）課長他3名
四国電力株式会社 原子力本部 管理グループ グループリーダー 他10名
九州電力株式会社 原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長他10名
日本原子力発電株式会社 発電管理室 警備・防災グループ 課長他2名
原子力エネルギー協議会 副長

5. 要 旨

原子力エネルギー協議会等から、5月下旬に予定している第9回訓練シナリオ開発ワーキンググループ会合に向けた以下の議題の準備状況について、配付資料に基づき説明があった。

議題1 令和3年度におけるⅠ型訓練の取り組みについて

議題2 令和3年度におけるⅡ型訓練の取り組みについて

議題3 令和4年度訓練実施方針について

議題4 その他

また、本ワーキンググループの事務局の事業者移行に関する事業者意見として、訓練の在り方に関する検討を踏まえ、事業者運営についての検討を進めていきたい旨説明があった。

原子力規制庁から、主に以下を伝えた。

- ・ I 型訓練及び II 型訓練の訓練実施後の振り返りで得られた知見等をどのように改善に活用しているか示すこと。
- ・ 令和3年度 II 型訓練結果のとりまとめを示すこと。
- ・ 本ワーキンググループの事務局の移行に関する事業者意見は、令和4年度訓練実施方針において示すこと。

原子力エネルギー協議会等から、本日の面談内容を踏まえ、対応する旨の回答があった。

6. その他

配布資料

資料：第9回 訓練シナリオ開発ワーキンググループ 資料（案）一式